

元社長が書いたハイパーネット自己破産までの回想録

『社長失格ぼくの会社が つぶれた理由』

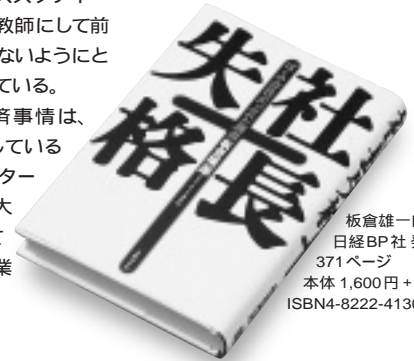
1997年、「アスキーインタネットフリーウェイ」という接続料金が無料のプロバイダーが存在した。専用のアクセスソフト「ホットカフェ」を使ってダイヤルアップIPで接続すると、広告表示用ウィンドウが現れて企業のコマースが常時表示される。その広告収入で運営されるという当時の画期的なアイデアから誕生した。そのシステムを生み出した会社が「株式会社ハイパーネット」だった。

このハイパーネットの元社長が、会社の創立からシステムの誕生、

会社の拡大、資金調達の悪化、そして自己破産に至るまでを回想してまとめたのが本書だ。これはノンフィクションの回想録であり、業界事情の暴露本ではない。題名からも分かるように悔悟の念を持って書かれている。世の経営者に送った1つのケーススタディーであり、自らを反面教師にして前車の轍を踏むことがないようにという願いが込められている。

現在の深刻な経済事情は、右肩上がりになり成長していると見られがちなインターネットビジネスにも大きな影響を及ぼしている。本書には同業

者へのメッセージを強く感じる。SOHOの企業家たちも、このメッセージを真摯に受け止める必要があるだろう。ベンチャー企業が持つ革新的なアイデアと意欲を前面に出して突っ走る危うさを改めて知らしめてくれる本だ。



板倉雄一郎 著
日経BP社発行
371ページ
本体1,600円+税
ISBN4-8222-4130-0



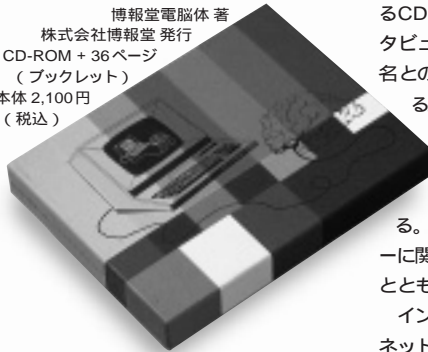
インターネットベンチャーへのメッセージ

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

インターネット利用者のライフスタイルとは？

『電腦生活観測'98 - 100人のデジタルライフ -』

博報堂電脳体 著
株式会社博報堂 発行
CD-ROM + 36ページ
(ブックレット)
本体2,100円
(税込)



1998年末から1999年にかけてインターネットを通信手段に使った事件が相次ぎ、報道はこぞってインターネットの匿名性が犯罪の温床になる可能性を指摘した。しかし、いつもは辛口のコメントを口にする木村太郎氏がインターネットのメディアとしての中立性を語ってくれてホッとした。インターネットの有効な側面はあまり取り上げられなかったからだ。

本書には、インターネットを活用する人々のインタビューがCD-ROM1枚と18ページのブックレット2冊に収められている。本体となるCD-ROMには、37名の対面インタビューと電子メールを使った70名とのインタビューが収録されている。対面インタビューは写真とテキストで構成され、小冊子の見開きページのようなHTMLのページになっている。ブックレットにはインタビューに関連する写真が1行のコメントとともに書かれている。

インタビューの内容は「インターネットをどのように利用しているのか」で、読んでみると十人十色のライフスタイルが見えてくる。ただ、本書には取材者側のレポートがなく、内容として中途半端に感じてしまう。しかし、一般的なインターネットの利用風景が見えるところは評価したい。

本書を読めば、インターネットはこんな健全な使われ方もされているのだということが分かるだろう。

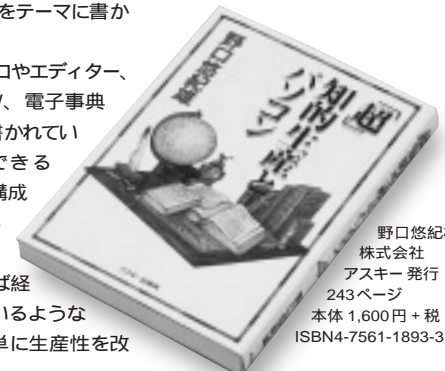
簡単に生産性を改善するためのTIPS集

『「超」知的生産とパソコン』

「パソコン」、「整理術」、「知的生産」といったキーワードで頭に浮かんでくる作家というと、山根一真、紀田順一郎、中野不二男となるが、忘れてならないのが野口悠紀雄だ。『「超」整理法』と『「超」勉強法』の著者である野口氏が、97年から98年の間、月刊アスキーで連載していた『野口悠紀雄の「超」パソコン講座・知的生産のModi Operandi』をまとめて加筆した本が本書だ。タイトルどおり、「パソコンを知的生産に使うにはどうしたらよいか」をテーマに書かれている。

パソコンのワープロやエディター、電子メール、WWW、電子辞典を活用する工夫が書かれていて、すぐに利用できるTIPS集というべき構成になっている。数年もパソコンを使いつづけている人ならば経験的に身につけているような手法を使って、簡単に生産性を改

善する方法を解説しているのだが、パソコン初心者には有益な情報だろう。たとえば、作成した文書ファイルにキーワードを埋め込んでおいて、「grep」(文字列検索の命令)で情報を検索する方法は、十数年前からUNIXユーザーなら誰でも行ってきたことだ。だが、言わずと知れたこととして、書籍などで取り上げられることが少ないから、改めて解説する意義はある。タイトルの「超」はトレードマークだから仕方ないが、パソコン知的生産入門というタイトルのほうがしっくりする内容だ。



野口悠紀雄 著
株式会社アスキー 発行
243ページ
本体1,600円+税
ISBN4-7561-1893-3

ポストペット2001の入門書

『できるポストペット

2001』

年末に新しいパソコンが家に届いた。さっそく妻はプリンストールされていた「ポストペット」を使い始めた。ペットはミニウサギ。好んで食べるキャンディーをあげ続けていたら、キャンディーを食べ尽くしてしまった。どこでキャンディーを仕入れて来ればいいのか？ 年末から「ポストペット2001」のテレビコマーシャルが流れはじめた。めざとい妻はポストペット2001を狙ってるようだ。ある日、ポストペット2001のお試し版がホームページに公開されていたのでダウンロードしてみた。ペットが8種類に増えている。自慢げに妻に見せびらかす。さっそくインストールして使おうと思ったがマニュアルがない。どうしたものだろう？ こんな家庭はいくつもあるに違いない。

本書は、MacOS

8.5とウィンドウズ95/98に対応したCD-ROMが付属するポストペット2001の入門書だ。ポストペット2001の基本的な使い方はもちろん、ポストペットパークの利用の手引き、Q&A、プロバイダーへの申込み方法などが解説されている。旧バージョンのポストペットから拡張された機能のすべてを解説しているわけではないので、すでにポストペットを使っている利用者向きではないが、初心者には十分な内容だ。付属するCD-ROMには、ポストペット2001のお試し版とできるシリーズオリジナルのおやつと部屋が収録されている。

本書とパソコン、そしてモデムやTAがあれば、すぐにもポストペット2001を始められるパッケージになっている。



モモ組 & インプレス書籍編集部 編
株式会社インプレス 発行
174ページ
本体 1,580円 + 税
ISBN4-8443-1231-6



GEODESIC 編著
株式会社ローカス 発行
255ページ
本体 2,800円 + 税
ISBN4-07-391118-X

お金をかけずに作るネットワークの解説書

『古いパソコンで作ろう ホームLAN!』

新しいパソコンを買うと、古いパソコンを家庭用簡易サーバーとして第二の人生を送らせようかと考えることがある。ここは一念発起してPC-UNIXを導入するというのが順当な道だが、小難しいことを避けて通るなんちゃってパワーユーザーにとってはまさしく鬼門だ。そうなれば、現状のOSのままどこまで行けるか、いっそ、その限界に挑戦してやるとなる。本書は古いパソコンをOSそのまま、OSに備わっているピアツーピアのネットワークサービスや簡易サーバー機能を駆使して再利用する方法が解説されている。

取り上げるマシンはマック、iMac、ウィンドウズ95/98だが、

AppleShare IPサーバーやウィンドウズNTサーバーなどの純正のソフトを組み込んで専用サーバーを構築するなんてことには目もくれず、黙々とチープなネットワーク構築法を解説してゆく。OSの基本機能だけでは実現できないサービスは、市販のサードパーティー製品の機能で補い、ちょっとしたマルチベンダーネットワークの出来上がりとなる。安く、効率良く、マックとウィンドウズの両方から使えるサーバーを作るのなら、TCP/IPをベースにFTPサーバーやWWWサーバーを作ったほうがいいんじゃないかと思っている人は読者対象外だと言える。べつにAppleTalkやNetBEUIだけでいいという人やプロトコルって言われても分からないといった、なんちゃってパワーユーザー向きの本だ。

ちょっと危険なウェブデザインの解説書

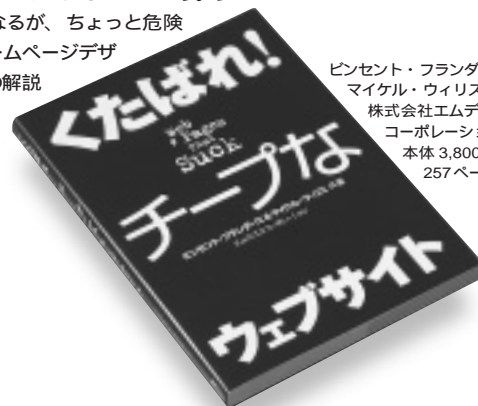
『くたばれチープなウェブサイト』

ホームページ作成についての解説本は、プログラムのテクニクについて解説する技術書、デザインのノウハウについて指導するデザイナー向けの本、マーケティングの観点からメディアとしてアプローチするビジネス本と大きく分けて3種類ある。その中でも、デザイナー向けの本はちょっと高飛車な内容が多い。結局は著者のセンスと感性で、良いデザインと悪いデザインに分けてしまっていて論理的な解説がされないこと

もある。芸術的な判断は主観的に行われ、客観的な解説は難しいのだから。そのため、本の著者と判断基準が合わないと読んでいて嫌気がさしてくる。

本書もデザイナー向けの本ではあるが、ざっくりぼんやり内容になっている。どう見ても80年代のB級コメディ映画の主人公にしか見えないオヤジコンビが、気に入らないデザインのホームページをこき下ろしながら、何がイケないかを解説する。解説に砕けた表現をどんどん取り入れていて米国のバラエティー番組の感覚で次々と進んでいく。面白くてどんどん

読み進めるけれど、ちょっと下品。参考にページを直していくと良くなっていくのだけれど、全体的にわびさびのないアメリカンテイストなデザインになってしまう。参考になるが、ちょっと危険なホームページデザインの解説書だ。



ビンセント・フランダース、
マイケル・ウィリス 著
株式会社エムディエヌ
コーポレーション 発行
本体 3,800円 + 税
257ページ



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp